



思いをつなぎ
思いをむすび
思いをつむぐ
家庭教育通信

発行者：釧路市家庭教育支援チーム
発行日：令和元年 7 月 31 日 第 15 号

令和元年度「家庭教育講座」「情報モラル学習」を実施しています。

＜釧路西ロータリークラブ＞

4 月 1 5 日（月）～1 2 名

釧路西ロータリークラブにて、釧路市における子どもと親にかかわることをテーマに、「家庭教育学級『ほわっと』」の話を中心にして講座を開催しました。真剣に聞いていただきました。



＜大楽毛小学校 情報モラル学習＞

6 月 2 0 日（木）3 校時 3・4 年生～7 1 名、
4 校時 5・6 年生～7 2 名

3・4 年生は、動画教材を活用しながら「情報機器とのかかわり方」の学習です。5・6 年生は、クイズを取入れての「インターネットについて」の学習です。

自分たちの生活を振り返るよい機会になったようです。授業にも積極的に参加していました。



＜城山小学校 情報モラル学習＞

7 月 5 日（金）～児童 2 3 名 保護者 1 0 数名

城山小学校 5 年生の情報モラル授業。「インターネットについて考えよう」をテーマにした授業。当日は保護者参観日。たくさんの保護者が参観する中、子どもたちは意欲的に学んでいました。



＜鳥取西小学校 「子どもとのかかわり方」＞

7 月 1 0 日（水）～学校、保護者、地域 3 5 名

鳥取西小学校区四者懇談会で講座を行いました。

先生、保護者、見守り隊、地域の方々が、子ども達を支援する活動（本の読み聞かせ・空缶プロジェクト・見守り隊）について、意欲的に交流しました。講座終了後に記入いただいたアンケートの中には、「交流を通して様々な話を聞けて大変良かった」という感想が多くありました。和やかな雰囲気の中で、講座が進められました。



子どもたちのための情報モラル授業！

家庭教育講座でも保護者を対象にして、子どもたちが情報機器を上手に賢く使っていくための親のかかわり方について共に学んでいますが、主に小学校高学年児童を対象にした情報モラルの授業も行っています。

昨年は愛国小学校、今年は大楽毛小学校、城山小学校において実施しています。授業は①ネットを正しくこわがる②ネットは日常生活と同じということを柱として、クイズなどの活動を活用し、1 時間の授業を展開しています。

学校等で活用いただく場合には、実施希望日より 1 ヶ月前までに、教育支援課 三枝まで電話にてご相談ください。

三枝先生の子育て講座



「子育てと共に、親自身も成長していく」

この世に生を受け息子の人生が始まった瞬間、彼にできたのは、妻のおっぱいを飲むこと、寝ること、泣くこと、うんこをすることしかなかった。それなのに、私を含めた周りの人を笑顔にできた。

3ヶ月ぐらいたつと、彼は周りに笑顔にあたえるだけでなく、自分自身も笑顔になった。その輝くような笑顔が見たくて、様々なことを彼に施した。そして歳を重ねると、自分から興味のあることに挑戦し始めた。できることが1つでも増えると、妻や私は大いに喜び、周りの人へ自慢をした。

小学校、中学校に進むにつれて、彼にもできることが多くなると同時に、できないことも目立ってきた。この目立ってきたというのは、親のものさしでの評価である。どうしても、できないことばかりが目につき、小言を言いたくなる自分がいた。こんな程度にしかできないから、しかたないかとあきらめてしまうことができればよいのだが、親だから望みは捨てたくないとい心強く刻む。だから、彼への要求は、「こうあるべきだ」という訓示に等しいものとなってしまった。

彼が中学3年生の頃、よく妻と私の二人で彼のことにについて様々なことを話した。「あの頃は、良かったよね」「とてもかわいらしくて天使のようだったよね」と昔を懐かしんでいる二人がいた。ふと、二人は気づいた。息子が誕生した時、彼のすること自体が喜びだったし、自慢だった。自分たちが何もしなくても、彼自身がした行為や興味を示した行動を受け入れる温かく、ゆとりある親の心が私たちにもあった。

彼が進路について悩んでいた時、私は腹をくくった。親として、彼のすること、進みたい道を信じようと決めた。彼自身が道を決め、彼自身の努力で人生を歩んでほしいと強く願った。彼の思いや願いを力強く後押しする応援団長になろうと決めた。もうすでに成人し、社会人として働いている。まだ、気がかりなことがないわけでもない。(まだまだ愚かな親の心は存在している。)私は、わが子2人の子育てを通して貴重なことを学んだ。子育ては、間違いなく、様々な試行錯誤と葛藤の連続ではあったが、子どもと共に親自身の成長でもあったことを思い返す。

施設の紹介コーナー

◆釧路こども家庭支援センター

社会福祉法人釧路まほし学園が運営する「釧路こども家庭支援センター」では、児童相談所や関係機関と連携しながら、子どもと家庭の問題の解決のお手伝いをしています。友達関係やいじめや暴力などの子どもの悩み、子育ての不安や心配ごと、不登校や引きこもりなどの親の悩みのほか、地域からの相談も受け付けています。来所や訪問による相談のほか、24時間365日の相談電話もあり、相談内容についての秘密は必ず守られますので、安心してご相談ください。

また、釧路市教育委員会では、釧路まほし学園と協力して、不登校などの悩みを抱える児童生徒とその家庭をサポートする「ファースト・ステップ・プログラム」を実施しています。釧路こども家庭支援センターを拠点として、児童生徒の状況に応じて様々な活動をおこなっています。

◆釧路こども家庭支援センター

住所:釧路市旭町16番5号
こども家庭サポートステーションあさひ
電話:0154-32-1150
FAX:0154-25-1151
ホームページ:

<http://jiritsu-support.jp/child/>



釧路市の相談窓口

～まずはお電話ください～

✧ 教育相談電話（釧路教育研究センター）

(0154) 42-3311

平日（土・日・祝日除く）
午前10時～午後4時



学校生活や家庭教育に関する悩みについて教育相談員が相談を行います。

✧ 育児・健康相談（健康推進課）

(0154) 31-4525

平日（土・日・祝日除く）
午前8時50分～午後5時20分



子どもの発育・発達、しつけ・育児・健康等について保健師が相談を行います。

✧ くしろ家庭児童相談室（こども支援課）

(0154) 31-4204

平日（土・日・祝日除く）
午前8時50分～午後5時20分



明るく幸せな家庭であることを願い、ご家庭が抱える様々な問題について相談を行います。

✧ 子育て支援拠点センター「子育て相談」（こども育成課）

東部 (0154) 65-9912 中部 (0154) 38-5037
西部 (0154) 65-6112 親子つどいの広場 (0154) 55-2231

平日・土曜（日・祝日除く）
午前9時～午後4時30分
※親子つどいの広場は午前9時～午後2時
平日（土・日・祝日除く）



その他相談窓口

✧ いじめカットライン

(0120) 783-228

いじめなど学校生活における問題について教育委員会の指導主事が相談を行います。

平日（土・日・祝日除く）
午前10時～午後4時

✧ 釧路こども家庭支援センター

(0154) 32-1150

社会福祉法人釧路まほし学園が運営し、子どもの生活に関する相談を行います。

24時間
365日

釧路市 家庭教育

検索

● 釧路市のホームページもご覧ください

〒085-0016

釧路市錦町2-4 釧路フィッシャーマンズ 7F MOO4 階

釧路市教育委員会 教育支援課 教育支援担当

電話:0154-23-5189

FAX:0154-25-5999

E-mail: kyo-kyouikushien@city.kushiro.lg.jp

◆ 本号作成担当者: 三枝・石川・佐藤

編集後記

一学期も24日をもって終了しました。休みになると、子ども達は家庭での生活が中心となります。思う存分に日常できないことに取組んで欲しいと期待しているところです。二学期も様々な講座で子どもたちや保護者に会うことを楽しみにしています。

みえだ



釧路市教育委員会では、「早寝・早起き・朝ごはん」運動を奨励しています。